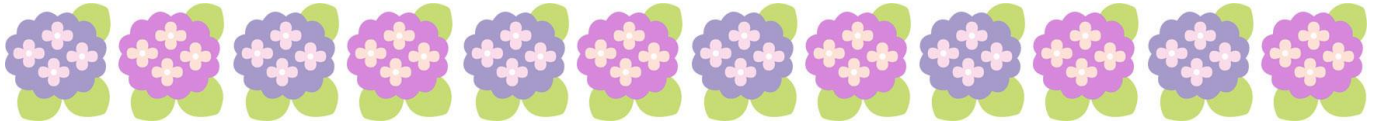


せいい乳児院の窓から

第126号 2021年6月



新しい乳児院に移ってから3か月余りが経ちました。子どもたちは新しい環境に大分なじんできました。大人（職員）もかなり慣れてきました。養育形態が小規模になっても、基本は子どもと大人が1対1で愛着関係を育むことです。小規模養育によって、愛着関係がより豊かに育くまれるようにしていきます。

新型コロナウイルスは、石川県が「蔓延防止等重点措置」の対象になり、終息の気配が見えません。子どもの日の行事は保護者の皆さんの招待はなくして、子どもたちと職員で楽しみました。5月の遠足も外出せずに、お部屋にブルーシートを敷いてお弁当を楽しみました。健康には万全の注意を払いながら、天気の良い日には近所の公園に散歩に出かけたりしています。散歩から帰った子どもたちの頬っぺたは、うっすらと上気しています。思いっきり陽の光を浴びて遊べる日が早く来てほしいなと思います。

保護者の皆さんの面会は原則控えてもらっています。子どもたちの様子は、昨年もお便りや写真でお伝えしました。今年も同様にしていきたいと思っています。ご了承ください。（院長 中村秀人）

・お花見・



今年は、旧乳児院の取り壊し工事の為、毎年恒例の敷地内でのお花見はできず、桜を探しにお散歩に出掛けました。満開の桜を見て、「さくら！」「きれい！」と喜び、花びらを拾ったりして春を楽しみました。子どもたちの可愛い写真がたくさん撮れました。



・ご復活祭・



4月3日、イエスキリスト様のご復活祭をお祝いしました。今年は子どもたちも一緒に風船でカラフルなイースターエッグを作って、飾りつけをしました。

午後からは、手遊びやパネルシアターを楽しみ、シスター靱山からご復活祭についてのお話を聞きました。その後、栄養部さん特製のウサギやひよこ、卵の形をした可愛いクッキーをいただきました。



・こどもの日・



5月5日、今年もコロナ禍の為、保護者の方々とお祝いをする事ができませんでしたが、男の子たちは、五月人形の前で写真を撮りました。五月人形の凛々しい顔に泣いてしまう子や正座をして笑顔でポーズを決める子もいました。午後からは、皆でお姉さん手作りの絵本を見て、鯉のぼりの形をした手作りクッキーを食べて楽しみました。



・食育活動・

- ★ 4月15日、フルーツミックスジュースを作りました。果物の形や重さ、匂いなどを知り、包丁やミキサーを使う体験をしました。いちご・バナナ・りんご・もも…と、勢揃いの果物に笑顔がこぼれます。この果物たちがジュースに…?!包丁で切って、ミキサーに材料を入れて、スイッチON!ミキサーの大きな音にビックリする子もいましたが、果物が混ざり合ってピンク色のジュースに変身!!した姿に興味津々でした。フルーツミックスジュースをおかわりして飲み、果物の美味しさを改めて感じることができました。



- ★ コロナ禍で外出もままならない為、いつも美味しいご飯とおやつを作ってくれる栄養部さんとお買い物ごっこをしました。テーブルに並んだ沢山のお菓子とお店屋さん(栄養部さん)の「いらっしゃいませ～」の声に、お店へお買い物に来たような気分になりました。恥ずかしくてお姉さんと一緒にお菓子を選んだ子、「どれにしようかなあ～」と時間をかけて選んだ子、レジでお金を払う子、と様々な姿が見られました。お部屋に戻って、買ったお菓子を満足気に食べた子どもたちでした。



- ★ 4月に入って、テラスで子ども達と一緒にシャベルでプランターに土を入れて、ミニトマトと大根の苗植えをしました。

お天気の良い日には、「トマトさん、ダイコンさん大きくなあれ!」と言いながら、子どもたちはじょうろで頑張って水やりをしています。

時には、苗を抜きたくなる子もありますが!声を掛け合って、野菜の成長を一緒に見ていきたいと思っています。トマト・大根が実った時の子どもたちの反応が楽しみです。



泣いたり笑ったり

かもめ組 Nちゃん（9か月）

ずり這い、寝返りが自由自在にできるようになった N ちゃん。好きなおもちゃを見つけると、一目散に這ったり、コロコロ転がりながら近づいて夢中に遊んでいます。時には、背泳ぎのように力強く足で蹴って上へ移動したりと、部屋中を楽しそうに動き回っています。最近、両脇を支えてあげると足を突っ張らせて立ちながら周りを見渡しています。視界が広がり興味津々な N ちゃん。次は、つかまり立ちに挑戦するのかな！

かもめ組 Sくん（1歳2か月）

上手に仕草ができるようになった S くん。「こんにちわ」と言うとペコリとお辞儀をしたり、「バイバイ」と言うと元気よく手を振ってくれます。S くんは、他にも上手に歩くことができるようになったり、苦手だった食べ物も食べられるようになったり、色々なことができるようになりました。どんどん成長する S くん。次は何ができるようになるか楽しみです。

つばめ組 Kちゃん（1歳10か月）

おままごと遊びに夢中な K ちゃん。椅子にポポちゃん人形を座らせて、ご飯を食べさせてあげたり、お布団を掛けてトントンしてあげたりと、毎日大忙しです。大きい子の真似をして、一生懸命遊ぶ姿を見ると大きくなったなあと思います。みんなで仲良く、いっぱい遊ぼうね！！

大人の思い -毎日をふり返って-

職員の「私の養育目標」3月のふり返りから、お伝えします。2月の引っ越しから3月末で1か月余り。子どもも大人もまだまだ新しい生活に慣れていません。それでも、大人は子どもの表情や様子、気持ちをよく感じて、子どもたちとの生活を送っています。

- 新しい建物に引っ越し、自分自身が生活に慣れることに必死だったように思う。が、日々の流れで、つばめ児との関りが増え、乳児院全体の子どもたちの個性が見えてきたと思う。つばめ児がかもめ児に優しく接する場面をよく目にし、月齢がごちゃ混ぜでバタついていっているような時でも、プラスな面もあることを感じた。プラス面をより伸ばせるよう、大人の動きや考えを整理したいと思った。
- かもめ児は理解力もまだ低いので危ないことを注意するときにも声のトーンや声の強さに気をつけながら伝えるよう心がけた。
 - 子どもの体調等、見て分かる変化だけでなく子どもの心情の変化にも気付けるようになりたいと思う。新しい環境になったこともあり、何か不安なことがあるかもしれない。その不安な気持ちは少しは行動に出てくると思うのでその変化を感じたい。
 - 担当児とは少しずつ関係ができていと思う。よく遊ぶ人、ご飯を食べる人から、その子の安全基地となれるよう関わっていきたい。
 - 実習生と子どものやり取りを見ていて、実習生は何とかして子どもに歯みがき、手洗いをしてもらおうとあれこれ声をかけていた。一生懸命なのは伝わってきたが、どうして子どもがゴネているのも考えてあげられたいのにと感じてみていた。人のことは良く見える。自分のことは棚に上げて……と反省しながら、実習生の根気を見習おうと思う。



乳児院改築 -建物と新事業-

前回から載せているお部屋紹介の続きです。

お部屋は、部屋の担当の職員が選んだ壁クロスと



(左) お部屋の名札は、今まで使っていたものを続けて使っています。愛着があります。扉には部屋の鳥がデザインされています。

(右) つばめ室です。子ども一人ひとりの衣服ロッカーがあります。各室にはマリア像があり、子どもたちを見守っています。右側の大きなロッカーは布団収納用です。



(左) 脱衣室とお風呂です。お風呂はゆったりとした家庭用です。職員が子どもたちと一緒に入ります。お風呂は2室共用で使っています。

(右) トイレです。便器は一般家庭と同じ大人用です。便座に子ども用の便座を置き、足元には踏み台を置いて使います。トイレは各室に1台設けてあります。



おいしいご飯を作ってくれる厨房です。左側の窓の向こうは、マリアルームです。子どもたちが遊びながら料理の様子を見たり、感じたりできます。

各お室にも台所があります。今は、ほとんどの食事を厨房で作っていますが、これからお部屋での料理も増やしていきたいと思っています。



面談室(かるがも)です。保護者の方や、職員との面談に使います。

ご支援ありがとうございました。

2021年3月6日から2021年5月31日までに、寄付・寄贈にご協力いただいた方々のご紹介をさせていただきます。

【寄付金】

平林正彦 高島豊子 寺井潔ソーシャルワーカー事務所
国際ソロプチミスト金沢 匿名の方4件

【寄付物品】

平林正彦

(敬称略)



■編集・発行 聖霊乳児院

〒920-8551 金沢市長町1丁目5番46号

TEL 076-223-2878 FAX 076-222-7589

<https://www.kanazawa-seirei.org/nyujiin/>